



平成23年度 全国中学校体育大会
第41回 全国中学校バドミントン大会
平成23年8月22日(月)～25日(木) 滋賀県立体育館

ようこそ大津市へ



滋賀県・大津市の名所、旧跡等の紹介

大津市は、恵まれた地理的条件を背景に、京都の外港として、さらには主要街道の分岐点にあたる宿駅として歩んできましたが、時代は明治となり、都が東京に移り、鉄道の開通を機会に、古都京都に隣接した街として新しい歩みを始めました。県庁所在地として、由緒ある歴史のたたずまいを今に残しながら発展してきた街、それが大津です。

四季を通じ、いつ訪れても、感性の鼓動を、時には激しく、時として優しく揺さぶり私だけの旅の世界を見せてくれる、そんな街です。

近年、全国的にも名が知られるようになり、多くの観光客が訪れる「びわ湖大花火大会」が今年も今月8日に大津港沖で盛大に行われ、約1万発の花火が湖を照らし出し、その優雅さに40万の人々が酔いしれました。また、みなさんの中には既にご覧になられた方もいらっしゃるかと思いますが、大津港沖には横の長さが440メートルもの世界最大級の噴水がびわ湖を舞台にライトアップされ、ダイナミックに変化する情景は壮観そのものです。

また、大津市には、歴史的にも有名な名所・旧跡・歴史遺産が数多くあります。その幾つかを紹介させていただきます。

まず、ここ県立体育館より、膳所駅方向へ徒歩約5分の所に「義仲寺」があります。本来は木曾義仲の菩提を弔うための寺院でしたが、松尾芭蕉の住んだ無名庵や句碑、さらには芭蕉の墓がある地として有名です。試合の合間に行かれてはいかがでしょうか。また、瀬田川沿いに南に行きますと、日本三名橋の一つ、近江八景「瀬田の夕照」で名高い「瀬田の唐橋」があり、さらに南に行きますと、紫式部が「源氏物語」の構想を練ったことで有名な石山寺があります。

また、大津市の北部、堅田の湖中に浮かぶお堂は、大津の代表的な景勝地として、浮御堂の姿は、実に風雅です。もし、今大会終了後に時間がありましたら、一度訪れてみてください。

まだまだ、皆さんに紹介したい大津・滋賀の観光地、見所は沢山ありますので、おみやげの一つとして観光されてはいかがでしょうか。

あいさつ

大津市教育委員会
教育長 澤村 憲次

「君の夢 近畿の夏に 咲きほこれ」の大会スローガンのもと、平成23年度全国中学校体育大会・第41回全国中学校バドミントン大会が、豊かな自然に恵まれた「湖都・大津市」において開催されることは、このうえない喜びであり、本市のスポーツの振興・発展にとっても大変意義深いものです。全国各地での厳しい予選を勝ち抜かれ、これまで数々の熱戦とドラマが繰り広げられてきた伝統あるこの大会に出場される選手・監督のみなさんをはじめ、役員の皆様を心から歓迎申し上げます。

選手の皆さんには、技術だけでなく、夢に向かって挑戦することや粘り強く取り組むことの大切さ、仲間と協力することの素晴らしさなど、毎日の部活動で鍛え抜かれた全ての力を存分に発揮していただくことと思います。この大会での中学生の輝きが、現在、東日本大震災に対する復興に励んでおられる方々をはじめ、日本のみなさんに元気を届けるような大会にさせていただくことを期待しております。また、この大会を通して、大津市の中学生をはじめ、全国の中学生との友情の輪を、琵琶湖の水面に広がる波紋のように大きく広げ、自信と誇り、そして夢と志を持って、生涯にわたってたくましく生きる力が培われることを願っております。

終わりにになりましたが、本大会の開催にあたり、ご尽力賜りました関係者の皆様方に対し、厚くお礼申し上げますとともに、大会の成功を祈念して、ご挨拶いたします。

君の夢 近畿の夏に 咲きほこれ